

ミナミコモリグモ *Piratula meridionalis* (Tanaka)

【選定理由】

おもに湿地、湿潤地、池沼の水際に生息する。開発等で生息域が縮小し、個体数の減少が心配される。

【形態】

体長 4～6mm。頭胸部は褐色で背甲に Y 字型の斑がある。腹部は濃茶褐色で白点が散在する。



豊田市(旧藤岡町)飯野町, 2008年5月29日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

名古屋市、日進市、弥富市、東海市、岡崎市(旧岡崎市)、豊田市(旧豊田市・旧藤岡町・旧下山村)、知立市、豊橋市、豊川市・新城市(旧鳳来町)などから記録されている。

国内では本州、四国、九州、南西諸島に分布する(新海ほか, 2018)。

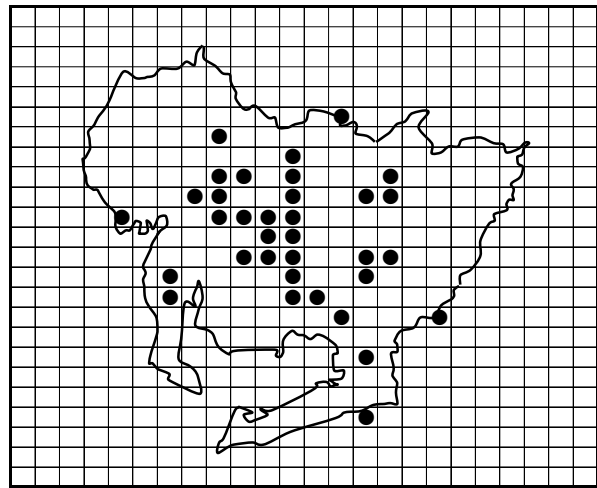
【生息地の環境／生態的特性】

主に、湿原や湿った草地に生息し、地表を徘徊する。初夏に成体になる。雌は卵嚢を糸器に付けて徘徊する。

【現在の生息状況／減少の要因】

開発等による湿原や湿潤地などの生息地の消滅で個体数は減少している。

県内分布図



【保全上の留意点】

宅地や道路工事等による開発の際、生息地を残すことが肝要である。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. p.114,244. 偕成社, 東京.

八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.169. 保育社, 大阪.

新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.23. 文一総合出版, 東京.

小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.225,608. 東海大学出版会, 神奈川.

小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.342,560. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)